

地熱を地域の産業基盤へ

八幡平市におけるGX戦略地域制度への挑戦

令和8年度岩手県市町村GX推進会議

令和8年5月

八幡平市 副市長 田村泰彦



1. 今回の位置付け

GX戦略地域制度への申請について、今回の選定の位置付けを整理します。



制度名

経済産業省
『脱炭素電源活用型
GX戦略地域制度』



選定区分

一次審査の結果、
『有望地域』
に選定



選定日

令和8年
4月24日



※ 今回は最終選定ではなく、今後の手続を経て決定される段階です。



2. 応募に至った経緯

地熱を産業政策に活かす構想として、段階的に検討を進めてきました。

2024

産業用地適地選定調査を実施
(日本立地センター)

2025

GX産業構造実現のための
GX産業立地ワーキンググループに参加
(経済産業省)

2026

脱炭素電源活用型
GX戦略地域制度に申請
一次審査で「有望地域」に選定

※2026年2月に申請



3. 構想の概要

100%地熱由来電力で動く脱炭素産業拠点を目指す



- 地熱由来の脱炭素ベースロード電源を活用
- 地域新電力『はちまんたいジオパワー』の電力メニューを基本想定
- 24時間安定操業が可能な産業基盤の形成を目指す

候補地（2地区）

候補地 A

面積：約 14.8ha

位置等の詳細は未公表

候補地 B

面積：約 16.2ha

位置等の詳細は未公表



段階整備を前提に、2地区を位置付けて検討



4. 八幡平市構想の特徴

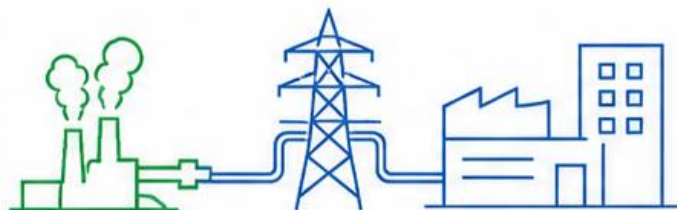
本構想の特徴は、次の3点です。

1 地熱由来電力の活用



- 安定したベースロード型再エネ
- 天候や時間帯に左右されにくい

2 フィジカルな再エネ活用



- 市内地熱発電所と同一系統
- 実電力ベースでの脱炭素化を志向

3 官民連携・段階整備



- SPC方式を含む事業スキームを検討
- 需要動向を踏まえた段階整備



地域資源である地熱を、環境施策にとどめず産業政策へつなげる構想



5. 目指す効果

GX産業団地の整備を通じて、次の効果を目指します。



1 産業競争力の強化

多様な企業を複数誘致し、
産業ポートフォリオを形成



2 地域経済の活性化

環境価値の域内循環と、
域内調達の促進



3 雇用の拡大・創出

多様な企業群による
常用雇用の分散創出



4 地域課題の解決

豪雪・人口減少下でも
「稼ぐ」産業基盤を再構築

単一企業依存を避け、持続可能な地域経済の形成を目指す



6. 今後の進め方

有望地域選定をスタートラインとして、次段階に向けた具体化を進めます。

今後の主な取組

- ・ 経済産業省との協議
- ・ 地権者との調整
- ・ ディベロッパー、金融機関、
インフラ管理者との協議
- ・ 地域新電力との連携
- ・ 計画の具体化と実行体制の整備



協議の本格化



計画の具体化



実行体制の整備

地域の再生可能エネルギーを、産業政策・雇用政策・地域づくりへつなげていく

